

東由利村報

No. 103 1966. 1. 1

発行
東由利村役場
編集
畠山 伝二郎
印刷
KK本間印刷所

第6回定例村議会

39年度決算を認定

玉米農協助成700万円など追加

第6回村議会定例会は12月20日役場に招集された。

これには昭和39年度村歳入歳出決算の認定、40年度一般会計補正予算など6件の案件が提出され、23日までにわたって審議、全部原案どおり可決された。

提出案件は次のとおり

▷ 県旧市町村職員恩給組合資産管理組合規約の一部変更
▷ 39年度村歳入歳出決算の認定（次号掲載）
▷ 40年度一般会計補正予算
追加3,195万円、総額17,505万円。

追加の主なものは給与改訂による職員費の増額のほか合併10周年記念式費（50万円）葎沢部落会館建築補助（15万円）猪股勘一郎氏顕彰会寄附（5万円）し尿処理組合負担金追加（33万円）出稼ぎ相談所運営費（11万円）玉米農協助成（700万円）智者鶴三相電気導入補助（9万円）へき地土地改良補助（206万円）共同苗代設置補助（106万円）農業構造改善事業費（1,627万円）雪害草地対策補助（

13万円）老方・役場線舗装（71万円）へき地学校設備費10校分（10万円）宿小備品費＝小野仁助氏寄附＝（28万円）などである。

▷ 40年度玉米財産区特別会計補正予算

追加869万円、総額995万円

▷ 意見書の提出

旧軍人等恩給処遇改善につき総理府総務長官へ意見書を提出する。

【陳情】 =いずれも採択=

▷ 本荘市由利郡地区教育振興施策（本荘市由利郡地教委連絡協議会長）

▷ 越冬見舞金支給（国立秋田療養所患者友和会長）

▷ 公民館の振興充実（県公民館連絡協議会長）

▷ 児童館建設（藏新田部落長）

6日・消防団出初式

新春恒例の村消防団出初式は1月6日午前9時から老方

葉たばこの収納実績

総額 1,200万円

40年度葉たばこ収納は12月6日から4日間老方小学校で行われたが、今年からはこれ



明けまして
おめでとうござります。

昭和30年7月23日下郷・玉米が合併してから昭和40

年で「10周年」をむかえたので去る11月10日この記念式を下郷中学校で小畠知事さんを

初め国會議員 県会議員

員、各官庁の方々、隣接市町村長、村議会議員、村内各種団体長など、3百有余人をお招きして盛大な式典をあげました。

「10年一昔」ということばがございます。自然条件にはばまれ、豊富な資源を持ちながら、あぐんでいた当時の面影を今思い出して感慨無量なものです。

小学校校庭で挙行される。

村民仲よくして誠意をつくし合い、努力すればかくも立派に「拓け伸びゆく村」に成功するものだということを学びとてくれたと思います。

新らしい村づくりの構想は一步一步前進し確立してまいりました。人間生活は人と人との結びあいによつて築かれてゆくもの

でありますから、お互い理解しあい努力しあい仲よくして手を携えて、来るべき「20周年記念式」を目指してこの元日からスタートいたします。

東由利村永遠の発展と、弥栄のために覚悟を新たにして新しい年をお迎えいたします。

と期待が寄せられていた。

本年度の実績は、総量目28,890キロで前年より15,700キロ減量、総収納代金は1198万円で224万円減額したが、これは品種が変わったことと、耕作者20人、面積で約3分減反しているためである。しかしキロ当たりにすると415円、反当84,209円で若干ではあるが前年より伸びを示しているので、今後に大きな期待が持たれている。

なお反当の最高は横渡高橋隆一さんの12万1千円、収納代金の最高は新田長谷山長四郎さんの15万4千円であり、反当11万円以上が6人、10万円以上が23人である。

大琴橋工事あと一息



大琴橋の永久橋架替は工事費638万円をもって7月から着手してきたが、ガードレールの取付も終って橋部は全部完成し、いま取付道路の工事をいそいでいる

【写真は取付道路工事を残して完成した大琴橋】



明けましておめでとうございます。今年は大変よい年になるようござります。

月日のたつのは早いもので東由利村が誕生してから一昔10周年記念式典が去る11月の吉辰をトして下郷中学校で盛大にとりおこなわれました。

この10年間は村の骨組造り基礎造りであったわけですが、それには何か欠けているものがあるような感じがしてなりませんでした。これからは肉をつける年になるわけです。

ふりかえって昨年度を見ます場合、議会として一番頭をなやませた問題は、玉米農協設備投資に対する補助金問題がございます。議会では慎重審議の結果次の要望書を附して採択したわけでございます。その骨子は

①本案は地域住民の要望も

あるので採択することを適當と認む。

②しかしながらこの計画をつぶさに検討すると比較的不急不要と認められる施設も含まれているものと思考せらる。

③玉米財産区の財政必らずしも裕福ならず、今後財産区にたよらなければならぬ事柄が山積している現状にかんがみ財政を圧迫しない範囲内に於て財産区とよく相談の上適当額をねん

なお合併は時代の推移による当然の措置と考え、組合員の理解を深めて速かな機会において実現するよう努力いたしますので、前述の補助金の件よろしくお願ひ申し上げます」

時代の流れをくみとられ将来の希望を認識せられまして、生産と経済を担当する農協の大同団結により、村に政治と経済の2本の柱が打ち立てられることになったわけです。

大変よい年に

議会議長 佐藤与吉郎

出せられたい。

④しかして農協全理事のいわれるごとく、組合の将来を考え直ちに東由利村農協との大同合併を望む。

幸にも玉米農協組合長小松常太郎氏をはじめ全理事署名捺印による書面に接することが出来ました。すなわち「かねてお願いしておりました当組合への補助金の件、何卒叶えさせていただくよう懇願いたします。

ら次へと出てまいりますがこれに乗りおくれないよう心がければなりません。

5月には年1回の農協の総会がありますが、それまでになんとか片づけてもらいたいものです。理事はもちろん、組合員皆様のご理解ご協力が必要です。そして東由利村発足記念日である7月23日に、農協合併記念式典と、11周年式典が同時に行われることの出来るよい年であることを祈念してごあいさついたします

なおつけ加えて申上げたいことは、昨秋東京の小野電業社長が来村の折、本村の現況を見て、東由利村の発展は生産の向上と経済の確立以外にはない。そのにない手である農協が合併し、組合員に良い品をより安く売ることであるが、年内合併が出来たら購買資金として、金1千万円を5カ年間無利子でお使いなさいと村の将来を思うありがとうございましたことをつけ加えて申し上げます。

新しい一年生154人

12月に身体検査実施



という喜びの反面、ちょっぴり緊張しながらみんなよい子になって検査を受けた。

新入学児童総数は154人で各校別数次のとおり
▷住吉小23▷玉米小47▷老方小33▷蔵小17▷法内小12▷宿小17▷袖山5

【写真は新入学児童の身体検査】

2月1日現在で農家調査を実施

県では毎年農家調査を実施しているが、本年も2月1日現在で調査を実施することになった。

調査のしかたは昨年2月1

日以降、農家の経営内容がどう変わったかを調べるもので、連記式となり、調査区の世帯が一まとめの簿冊となっている。このような調査様式になっているので、担当調査員が伺った際は、簡けつにしかも正確な調査が出来るよう協力をお願いしている。

戦没者勲章伝達式

本村の戦没者叙勲による勲章記伝達式は12月22日役場で行われた。今回の叙勲者は次の10柱でいずれも勲八等白色桐葉章がそれぞれ遺族に伝達された。

▷伍長小野徳一郎(父吉之助・祝沢)▷兵長遠藤直也(姉ナツミ・野田)▷同阿部強(母サトリ・杉森)▷同伊東正一(母ツマ・横渡)▷同伊東勝



義(妻ミエ・蔵新田)▷同畠山松太郎(母ヨシエ・寺田)
▷同佐藤章太郎(父吉太郎・寺田)▷衛生兵長小松兼二郎(母トミエ・館合新田)▷上等兵菊地未治(母ミナ・祝沢)
▷同佐藤玉一郎(母エサ・上里)

【写真は勲章記伝達式】



回顧と躍動する希望のもとに、また新らしい年を迎えておめでとうございます。

昨年は、新村合併十周年を迎え、栄えある村造りに村民の皆様のご理解とご協力により、様々な発展途上に向いつつあることは同慶に堪えません。

この新しい年の始めは又村造りの設計の始めてございます。私は年頭に当り、自分の村を正しく眺めて高い誇りを持って行きたいと思う。これは自分だけでなく八千村民に同様の誇りを持ってもらいたいと思います。誇りを持つ村に争いのある筈はない。明るい村はお互いの理解ある譲歩によっ

て建設されると私は信じている。理想の村造りの完成は、全村民の一一致した意欲と力の結集によって始めて完成の域に達するのだと思う。私は八千村民の結集に期待しているしこの結集した力を村の誇りとしたいと思います。

昨年は中学校統合問題を43年まで完成を目指として

村民性の新しい創造

教育委員長 小松忠一郎

計画したるも、村財政難のため少しく延期せざるを余儀なくされ甚だ遺憾に堪えません。

然し統合はあくまでも推進して参りたい念願です。

本年の教育目標としては学力の向上を目指とした人材開発、体質改善の強化、健康教育、道徳教育、環境

の整備、施設・設備の充実優秀教員の誘致、殊に昨年は文部省案による僻地教育の現地相談班の設置をみ、僻地教育の一大躍進の実現又村造りの一大要素の社会教育に重点を置き社会教育の振興に留意すると共に、村の総合行政と連携を密にして、積極性、計画性協調性を鼓舞し、独持の、親

しみと和合と愛情のある村民性を創造して参りたいと

思う。何と申しましても教育は凡ての根本をなす人を造る行為であります故に、百年の大計を樹てて投資する大事業だけに村民各位のご協力とご支援を得て強じんで豊かな学園の建設に邁進致したいと思います。

村民各位のご健康とご多幸をお祈りして新年のあいさつと致します。

ます。とても寒いようですがカッパを着て働いています。順子さんの姉さんといっしょにいっています。

おとうさんも元気で働いて下さい。冬のこえひきは私と姉さんといっしょにうんとがんばります。安心して下さい。私ももうすぐ6年生になります。いっしょうけんめい勉強もします。からだに気をつけて働いて下さい。

□□おとうさん□□

おとうさん元気ですか。私たちの方はもう雪が積っています。今冬の仕度をしているところもあります。

こっちはだんだん寒くなりました。私も元気に学校に行き、休みの時などはスキーにのって遊んでいます。私は学校を休んだりはしません。でも家に帰ると少しくらくなる時もあります。家へ帰ると私たち三人ですが、淋しくはありません。私もおかあさんに一しょうけんめい手伝っています。おとうさんがすきだったものを思い出しています。あの時のおとうさんはとても楽しそうだったね。

おとうさんお仕事大変でしょうね私もうんとがんばりますから、おとうさんもうんとがんばって下さい。

出稼ぎのお父さん元気で!

住吉小5年でお便り文集発送

住吉小学校5年のクラス（担任工藤道也教諭）では、このほど出稼ぎに行っているお父さんたちにお便りをまとめたガリバン刷りの文集「山の子」をつくり、それぞれ発送した。

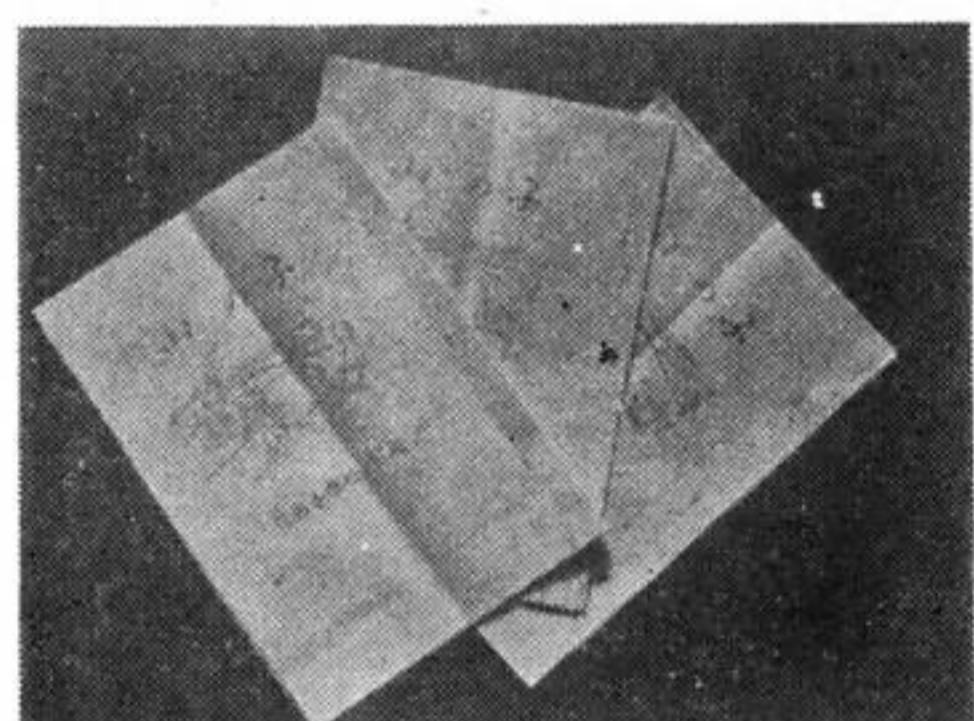
同クラスでは児童35人のうち現在18人の親たちが出稼ぎに行っており、この文集を一読するとお父さんたちのいない淋しさにたえて明るく生活し、すこしも家庭に心配をかけまいとする気持ちと、元気で精一杯働き、早く帰っていただきたいという子どもたちの願いが、そくそく胸に伝わってくる。

以下、2つのお便りを掲載したが、同クラスでは今後も続けてお便りの文集を発行しようと張切っている。

□□おとうさんへ□□
おとうさん元気でいますか
こちらはもう雪がつもって
います。姉さんは自転車にの
らないで毎日歩いて学校へ行
っています。

私は毎日元気で学校に通
っていますから安心して下さい
学校は8時20分から始まっ
ています。8時には朝掃除をし
て出来れば少し遊びます。勉
強もだんだんむずかしくなり

ました。とくに漢字と分数は少しづからないところがあります。私の席は一番前なので黒板の字がよく見えるのでとてもいいです。ストーブは私の前にあるので朝自習のとき寒くありません。2時間目頃になるとあつくて困るときもあります。私は向田の長谷山栄子さんとならんでいます。とても親切な人で、いろいろわからぬことをきいておせ



わになっています。

家の人们たちはみんな元気ですが、12月1日おじいさんがはらがいたいというのでお医者さんにみてもらいましたが今はすっかりよくなっていますから安心して下さい。おかあさんは毎日のように松台のどかたに行って働いてい

村税納付率66% 前年より10%の伸び

40年11月末日現在の村税納付状況は、前年同期と比較すると10.3%の伸びを示し、納税に対する理解の高

まりのあらわれであると考えられて喜ばしい限りであるが、郡内他町村に比較するとまだまだの数字である年度終りまであと3月、百分比完納を目指して一ふんぱりを願っている。

▷いずれも児童名は略す

魁本荘支局長に感謝状

12月20日村議会開会に先立ち、魁新報本荘支局長藤川氏に対し、40年度の異常気象の中の稻作について新聞報導による適切なる指導に対し、村長より感謝状並びに記念品を贈呈した。

2年目を迎えた構造改善事業

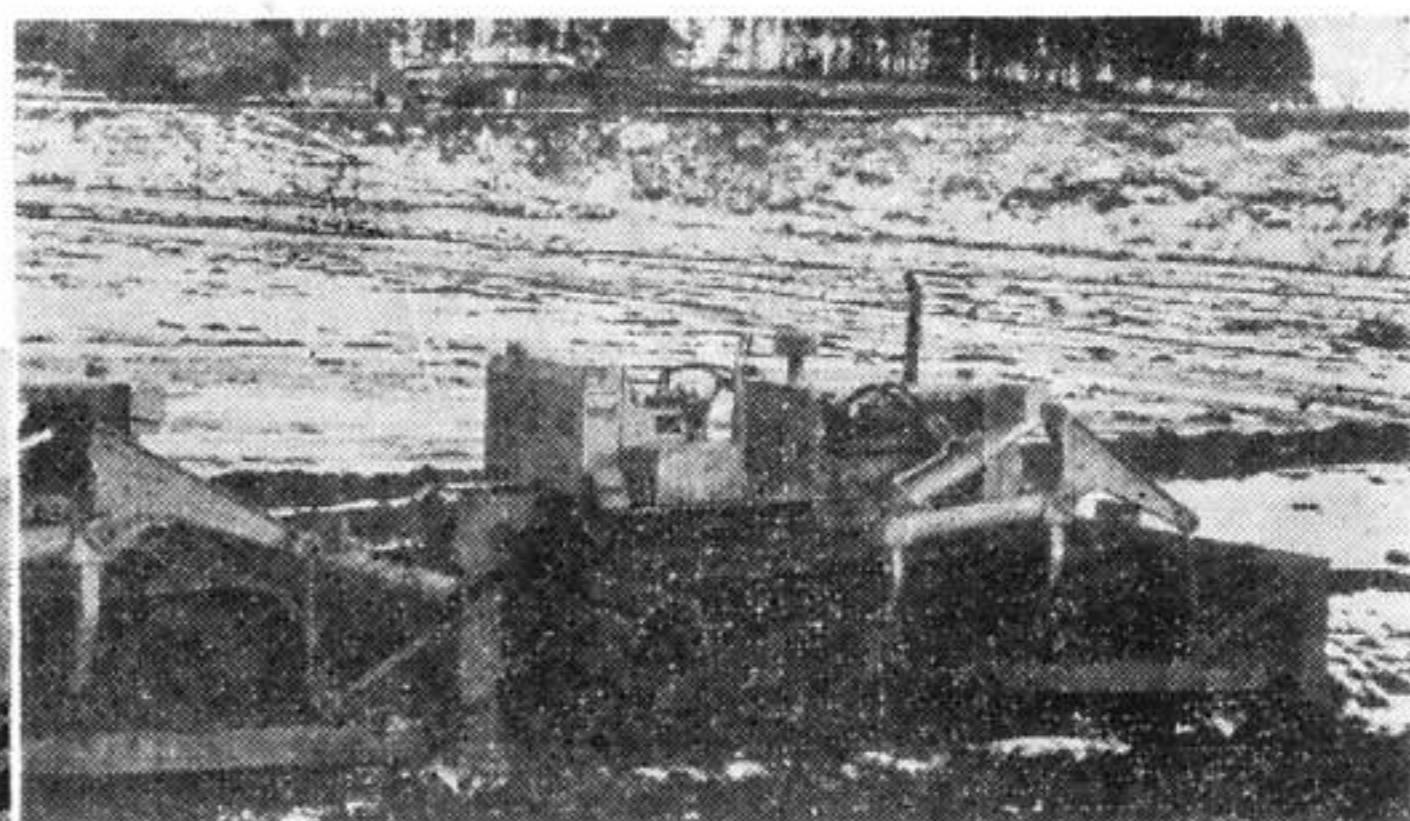
新年度で70%進捗

農業近代化といふ村民の大きな期待のもとに実施された農業構造改善事業もいよいよ第

2年次を迎えた。

第1年次の事業は桑園造成と区画整理、ブルドーザー購入などが主なもので、桑園造成は高館・沼・土場沢の3工区12ヶ所、現在進捗率80%、区画整理は島・石田坂工区44ヶ所で50%進捗、そしてブルドーザー11トン車が購入された。

第2年次はこれらの仕上げと、新たに蔵工区区画整理38ヶ所、大台地区桑園造成9ヶ所、稚蚕共同飼育所1棟、同壮蚕飼育所4棟、大台地区草地造成24ヶ所、牧道2,000m、追込舍・共同乳牛舎各1棟、乳牛導入45頭、トラクター購入2セツトなどが予定され、総事業費1億4千万円にのぼる事業規模の約70%が完成するので、構造改善事業のはば全ぼうがわれわれの目の前に展開



されることであろう。

【写真（右）は広く区画整理された島工区の田んぼ（左）はテラス方式で造成された沼地区の桑園】

除雪は話しあつて 交通確保に協力を

道がよくなり除雪車の能率がすばらしくなって、ふぶきの中の孤島の生活は昔の夢になった。ありがたいことだ。

しかし、家のたてこんだ町中に住む人達にとっては家の前の雪をのけるのが大きな悩みの種となった。やり場のない雪に困っているところへ向い側からなげてよこす。近所同志で一々ことわりもならず困り切っているという苦情が多い。こんな迷惑行為をなくすようやり場のない方からよく頼んで、お互い冬期交通確保の見地から、仲よくやって行けるような解決方法を考え出ようにしたいものである。

するほか、いろいろな社会福祉事業に率先して奉仕されるなお委員の任期は3年である。

民生児童委員総務に佐藤氏

12月10日の民生児童委員辞令伝達式後行われた委員協議会で総務等の互選が行われ、総務に佐藤歓次郎、副総務に長谷山久一氏がそれぞれ選任された。

自衛官4次募集

防衛庁では40年度第4次募集を次の要領で行っている。

なお志願票及び志願案内は役場に準備されている。

▷募集人員=陸士6,400名・海士1,600名・空士1,825名
▷応募資格=18歳以上25歳未満の男子

▷募集期間=1月から3月
▷試験=1月20日・2月25日
3月25日、いずれも本荘保健所において

新しい民生児童委員決る

12月10日・25氏に辞令伝達

生活の貧しい人や困っている人たちの味方となり相談相手となって奉仕される民生児童委員が12月1日付で新たに任命され、10日その辞令伝達式が役場で行われた。

本村の新しい委員は25人（新任5人）で、その職務は公正な立場にたって担当区域内の住民の生活を調査し、保護を要する世帯、母子世帯、問題児童などを適切に保護指導

新 民 生 児 童 委 員 名 簿

氏名	年令	住所	担当部落	氏名	年令	住所	担当部落
横山市十郎	55	向田	向田・智者鶴・泡ノ淵	小松運次郎	57	新町	新町・上里
長谷山久一	61	地下ノ沢	地下ノ沢・黒淵・葦沢	小松健一郎	57	宮ノ前	島・宮ノ前
佐藤歌子	43	田代	田代・石高	佐藤歓次郎	60	新田	新田
畠山貞一郎	56	船打場	袖山・大吹川・須郷	阿部ナミ	43	蔵	蔵
佐藤源吉	65	時雨山	時雨山・高戸屋・下小屋	小笠原豊吉	57	横渡	横渡・岩館
小松ミヨ	54	須郷田	須郷田・新田・館西	阿部祐次郎	63	十二ノ前	野田・新処・十二ノ前
佐藤貞	53	下小路	宇戸坂・新沢	遠藤莊二郎	49	小倉	桂台・小倉・中ノ沢・高村
小番順	37	家ノ下	家ノ下・下小路・八日町	小松善次郎	45	黒沢	黒沢・大台
高橋富助	50	久保	久保・五海保・板戸	畠山寅松	45	下吹	宿・下吹
工藤武雄	50	山崎	山崎・松柴	石綿壬子雄	53	大琴	大琴
小松チヨ	54	湯出野	寺田・湯出野	畠山作左工門	54	土場沢	土場沢・高屋・沼
小笠原清一郎	44	祝沢	祝沢・日照坂・倉・茂沢	小松正慶	0	畠村	舟木・畠村・杉森・奥ケ沢
小松幸子	40	中通	横小路・上通・中通・下通				